

資料1 高知県東部広域地域公共交通網形成計画（素案）に対する意見と対応

旧ページ	現ページ	意見内容	対応
1	1	<p>(上段) 0.1 計画の目的 高知県中東部地域に位置する11市町村（室戸市、安芸市、南国市、香南市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村）～</p> <p>(中段) 0.2 対象地域 本計画の対象地域は、下図に示す東部広域地域11市町村（室戸市、安芸市、南国市、香南市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村）～</p> <p>→同じ11市町村を指しているため、「東部広域地域」に記述を統一しなくてよいのか？ →「室戸市、安芸市、南国市、香南市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村」の並びは、協議会の委員名簿と同じと思われるが、地図の位置でみるとバラバラ感があるので、順番を考えた方がよいのではないのか？</p>	<p>「高知県東部広域地域」という地域区分は他の計画等で一般的に使用されているものではないため、0.2節で「東部広域地域」を定義するという意味を含めた表現としております。そのため、その前段に位置する0.1節においては、「中東部地域」という表現としております。</p> <p>また、市町村の表記順については、市町村コードの順番を用いております。</p>
24	24	<p>空港乗合タクシーの記載が南国市内のみを運行するようにもとれるため、空港～のいち駅間を運行している状況を記載してはと思います。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、当該部の記述を一部修正いたしました。</p>
32	32	<p>P32 図 1-34 主要施設の立地状況（行政施設－市町村） →室戸市等に公立公民館の印がないように見えるが、公民館はなくてよいのか？</p>	<p>室戸市内には3箇所（室戸岬公民館、吉良川公民館、羽根公民館）の公民館がありますが、いずれも図面上では近接する支所に隠れております。</p>
47	47	<p>図1-53 →図の中の子が小さいので、図をもう少し大きくした方がよいのではないのか</p>	<p>ご指摘を踏まえ、図を少し拡大しました。</p>
48	48	<p>(中段) ■通勤・通学 ・通勤・通学者の利用交通手段は、自家用車が7割近くを占めており、公共交通機関の利用率は低い。 →通勤も通学者も自家用車が7割と読めるが、通学者は7割以下ではないか。通勤と通学を合計した割合なのか？</p>	<p>ご指摘を踏まえ、当該部分の表記を修正しました。</p>
48・52	48・52	<p>(P48下段) ■主要施設 ・主要施設は、概ね鉄道及びバス路線沿線に立地しているが、観光拠点のみバス路線沿線等から離れた施設も点在している。また、北東部の東洋町、安田町、北川村、馬路村には、大型小売店、病院がない。</p> <p>(P52下段) 通院目的の移動では、買い物目的の移動に比べ、市町村外への移動が多くなっている。特に、北川村、馬路村では、通院先が村内である割合が2割以下となっている。 →東洋町、安田町、馬路村には診療所があるが、文章は、診療所を除く病院と大型店舗の両方がないという意味か？ 診療所を除く場合、P52下段の記述が分かりづらくなるため、追記等をした方がよいのではないのか</p>	<p>P48の記述はP34に示している病院の立地状況図に基づいておりますので、P34の説明文として、診療所を除く旨を記載いたしました。</p>
53	53~55		<p>高齢者の移動の範囲を図化いたしました。</p>

資料1 高知県東部広域地域公共交通網形成計画（素案）に対する意見と対応

旧ページ	現ページ	意見内容	対応
69	71	表3-1 地域内の複数市町村に関する計画 →「第三次 安芸広域ふるさと市町村計画」を追加した方がよいのではないか（安芸広域が作成した計画。計画内に公共交通に関する記載有り）	「地域内の複数市町村に関する計画」として、第三次安芸広域ふるさと市町村計画を追加いたしました。
77・78	79・80	北川村の施設について （P77 北川村 まち・ひと・しごと戦略の内容） 文章内の「観光主要3施設」 （P78 ■まちづくりの方向性） ○交流人口の増加と人口の定着 文章内の「北川村3観光施設」 →具体的に施設名を記述した方がよいのではないか	ご指摘を踏まえ、p77の観光主要3施設の後に具体の施設名を追記するとともに、p78の文章を修正いたしました
79	81	むろと廃校水族館を追加してほしい	交流拠点<その他>として、むろと廃校水族館を追加いたしました。
	94		本計画の目指す内容を端的に示すため、「基本方針」を設定いたしました。
95ほか	98ほか	実施項目（主要施策）1として、「既存バス路線網の最適化」が挙げられているが、これは、P111の目標値にもあるとおり、各路線の乗客数の総量を増やすことを目的としたものであり、各区間の廃止や減便を選択肢に入れたものではないことを改めて確認したい。（本村を含めた枠組みの中でそういった選択肢を検討するというのであれば、計画そのものに同意することが極めて難しい。） なお、本村は、村外への唯一の公共交通機関である路線バスの意義を重要視しており、来年度以降、本計画の内容及び協議会の取組と歩調を合わせて、本村乗り入れ路線の乗客数の総量が増加するよう施策を検討・実施していく考えである。	本計画において、「既存バス路線網の最適化」として馬路線を記載させていただいており、おっしゃる通り、路線の乗客数を増やすための取組も含めた検討を行ってまいります。馬路線については、安田町においても、現在、網形成計画を作成しており、馬路線を幹線として考えており、路線の乗客数の増加につながるような施策を検討されております。本計画においても、今後、馬路線を活性化させるための検討を、安田町、馬路村、田野町、高知東部交通(株)とで実施してまいります。
	100		第3回総会でのご意見を踏まえ、各実施項目のスケジュールを一覧にした表を追加いたしました。
97	101ほか		第3回総会でのご意見を踏まえ、主要項目1の内容を修正いたしました。
98	102	地域内と高知龍馬空港を結ぶ新たな輸送方法のバスの利用とタクシーの利用を可能にし、時間調整を考え直してほしいとの要望があります。	本計画において、「地域内と高知龍馬空港を結ぶ新たな輸送方法の検討」を記載しており、高知龍馬空港一のいち駅―後免駅を結ぶ新たな輸送方法を高知東部交通(株)、南国市、香南市とともに検討してまいります。

資料1 高知県東部広域地域公共交通網形成計画（素案）に対する意見と対応

旧ページ	現ページ	意見内容	対応
98	102	『平成31年度中に需要調査に基づいた収益予測を実施し、』との記載について、前後の記載から「需要調査に基づく収益予測」についても検討事項と読み取れることもできるかと思いますが、需要調査の実施費用の負担方法についての関係者合意も未だ形成されていない段階においては、「需要調査に基づく収益予測」の実施についても検討事項として明確に位置付ける必要があるのではないかと考えられます。 ついでに、1月末の総会における網形成計画（案）の検討までの間に関係者合意が形成されるのであれば別段、『平成31年度中に需要調査に基づいた収益予測を実施することを検討するとともに、』等の記載により検討事項として明記すべきと考えます。	現時点では、ご指摘の通り費用負担方法に関しても未定のため、需要調査についても検討事項として修正しました。今後、網形成計画の策定までに関係者合意が形成できれば、実施事項としての記載に再度修正します。
100	104	ごめん町駅の路面電車への乗り継ぎも考えて欲しい（台湾の方より要望あり）	鉄道・路面電車・路線バスそれぞれのダイヤ改正にあわせて、相互の乗継についても考慮事項とする旨を、計画書に明記いたします。
100	104	輝るぼーと安田など新たな交通結節点の提案がありましたが、公共交通の結節点としてうまく機能するためには、結節点自体が目的地になりうるよう整備していくことが必要かと思えます。	輝るぼーと安田に関しては、安芸～室戸～甲浦線と安芸～馬路～魚梁瀬線の分岐点に位置していることから、乗継拠点としての機能強化を想定しております。また、輝るぼーと安田は1日平均327人（H29年度実績）の来客がある施設であり、また近くにレストランや安田町役場もあることから、目的地としての機能を持ち合わせた場所であると認識しております。
101	105		事業名の文言を修正いたしました。
104	108		第3回総会でのご意見を踏まえ、学生に対するバスの乗り方教室の開催を検討事項として追記いたしました。
107	111		第3回総会でのご意見を踏まえ、施設と連携した利用促進策を実施する旨を記載いたしました。
108	112	混雑解消の課題があることは明らかとしても、この課題解決のために車両購入まで言及するのは性に過ぎる。項目削除又は「運行形態の見直し」などの課題指摘に留めるべきである。 * 既存車両での増結は困難ではあるが、新たに車両購入をするには15,000万円近い初期費用が見込まれる。仮にこれを縮減できたとしても、人件費、動力費、検査費の概算で、年間に1,650万円程度の維持費が必要となる。一方で、増収効果や乗客維持効果も特定できない。	ご指摘を踏まえ、文言を修正させていただきます。次年度以降において、ごめん・なはり線利用者への満足度調査等を検討しており、その結果を踏まえ、四国旅客鉄道株式会社様を含め、利用促進につながる取組を検討してまいりたいと思えます。
111	115		計画達成時の状況を記すとともに、各評価指標をそれらの達成状況を評価するためのものとして位置づけました。また、一部評価指標の目標値を修正いたしました。
112	116		計画の継続的な改善に向けた取り組みを、より具体的な内容に修正いたしました。
全体	全体	→円グラフや棒グラフで示した割合の合計が100.1や99.9になるものがあるので、合計が100にならない旨を記述した方がよいのではないかと	ご指摘を踏まえ、p42のグラフ（本文中、割合の合計が示されている最初のグラフ）下部に、合計値が100%とならないことがある旨の注記をいたしました。
全体	全体		「学生」の表記を「児童・生徒」に修正いたしました。